

事業実施主体等取組評価報告書(産地競争力の強化のための整備事業)

市町村名	事業実施主体名	政策目的	取組の分類	作物等区分① (対象作物・畜種等名)①	政策目標①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①							成果目標の具体的な実績①	事業内容 (工程、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価(H23)	都道府県の評価	備考		
							1年後 (平成19年)	1年後 (平成19年)	2年後 (平成20年)	3年後 (平成21年)	4年後 (平成22年)	5年後 (平成23年)	目標値 (平成23年)				達成率	交付金	都道府県費	市町村費					その他	
登米市	有限会社エヌ・オー・エー	産地競争力の強化【畜産生産盤強化】	産地競争力の強化に向けた総合的推進	肉用牛 子牛生産	生産性の向上	【肉用牛生産の低コスト化】 子牛1頭当りの生産費 現状 468,147円 目標 340,866円 (27%減)	子牛1頭当りの生産費 468.147円	—	364,062円	470,277円	358,115円	368,305円	340,866円	78.4%	子牛生産費が22%減少した。	畜舎 1,892.16㎡ 堆肥舎 550.8㎡ その他附帯工事一式(電気工事1式、給排水工事1式、梱包解体機1台、自動給餌機、子牛哺乳ロボット、設計管理費)	90,775,000	39,525,000	0	0	51,250,000	H20.3.26	本事業により、自動給餌機、哺乳ロボット等の導入、パドックに屋根をかけることにより、作業の省力化、牛のストレス軽減及び繁殖成績の向上などを図り、子牛1頭あたりの生産コストが削減された。粗飼料確保については、堆肥の有効効用促進を図るため転作地利用等を行い、購入飼料軽減を図る。	「達成率は78%であるが、近年の世界的穀物価格の高騰の経営環境の中で、肉用子牛生産性の向上と子牛生産費の削減が図られ、政策目標が概ね達成されていることは評価できる。引き続き成果目標の達成に向けて指導を継続していく。		
都道府県平均達成率				131.7%	総合所見	近年の世界的穀物価格の高騰の経営環境の中で、肉用子牛生産性の向上と子牛生産費の削減が図られ、政策目標が概ね達成されている。																				